

健康の塔

けんこうのとう

(所在地) 福島七丁目二二一

昭和十五年（一九四〇）には、皇紀二千六百年としていろいろな催しが行われた。その一環として奈良県に「建国報国塔」が建設された。その後現在の地に、「健康の塔」として、再建された。



【碑文 下段】

塔の由来

昭和十五年 株式会社小林商店（現ライオン株式会社）は、紀元二千六百年の建国記念と創業五十周年の記念すべき年に当り、次代を担う子供たちの健康を願って全国の学童より健康をテーマに「書き方」を募集いたしました。応募総数は百十八万五千点の多きに達しましたが、全応募者の名簿と優秀作品を永世に残すために奈良県橿原神宮競技場内に「建国報国塔」を建設し奉納いたしました。昭和五十八年同競技場の拡張改修工事の際に、建国報国塔の碑文石をそのままいかし、この地に「健康の塔」として再建し後世に残すものであります。ライオン株式会社は創業以来「清潔で健康な暮らしに寄与すること」を経営理念としていますが、この「健康の塔」の再建に当りこれからもますます人々の健康生活に広く寄与してまいります。

昭和五十九年六月

ライオン株式会社

【碑文 上段】

皇紀二千六百年ノ佳節ニ当リ株式会社小林商店ハ之ガ奉祝ノ誠
忱ヲ致サンガ為メ興亞日本ノ将来ヲ担フベキ学童ノ健康強化ヲ
強調スベク全国学童ヨリ健康報国書方ヲ募集シ之ヲ榎原神宮ニ
奉献センコトヲ發願セリ

茲ニ於テ全国学童健康報国書方奉献会ヲ組織シ会長トシテ社長
小林喜一之ニ当リ名誉会長トシテ伯爵清浦奎吾閣下ヲ推戴セリ
此挙ニ応ジソノ作品ヲ寄スル者百十八万四千九百六十六点乃チ
之ヲ榎原神宮ニ奉献シテ全国一千三百万学童ノ健康ヲ祈願シ更
ニ右奉献ノ代表作品及ビ全応募者名ヲ本塔ニ納メテ永世ニ之
ヲ記念シ併セテ邦家無疆ノ弥栄ヲ祈ル

昭和十五年十一月

紀元二千六百年奉祝全国学童健康報国書方奉献会